

議事要旨

会議名	令和5年度（2023年度）第1回 八王子市地域づくり推進基本方針改定懇談会	
日時	令和5年（2023年）7月27日（木）午後6時30分～8時00分	
場所	八王子市保健所（たま未来メッセ）502会議室	
出席者氏名	参加者	東京都立大学 法学部 教授 大杉 覚 氏 法政大学 社会学部 准教授 谷本 有美子 氏 長房中学校区地域づくり推進会議参加者（中学校 PTA） 野副 弘毅 氏 川口中学校区地域づくり推進会議参加者（町会自治会） 荒木 紀行 氏 みなみ野中学校区地域づくり推進会議参加者（NPO 団体） 野牧 宏治 氏 南大沢中学校区地域づくり推進会議参加者（民生委員） 吉村 由美 氏 一般社団法人 八王子冒険遊び場の会 理事 足立 純一 氏 NPO 法人 dattochi home（ダットッチホーム） 理事 田中 久乃 氏 市民活動推進部長 小山 等 福祉部長 松岡 秀幸 都市計画部長 守屋 清志 学校教育部長 今川 邦洋 総合経営部地域づくり担当部長 新納 泰隆 総合経営部地域づくり担当課長 伊東 健一
	市	市民活動推進部協働推進課 青柳 志良 福祉部福祉政策課長 柏田 恆希 都市計画部土地利用計画課長 倉田 貴文 学校教育部地域教育推進課長 高橋 健司
	事務局	総合経営部経営計画課地域づくり担当 主査 興梠 翔大 総合経営部経営計画課地域づくり担当 主査 三井 直義 総合経営部経営計画課地域づくり担当 主任 橋本 宏子 総合経営部経営計画課地域づくり担当 主任 徳永 沙緒 総合経営部経営計画課地域づくり担当 主任 山北 晴奈
欠席者氏名	なし	
議題	(1) 「新・地域づくり推進基本方針」策定に向けた検討について (2) その他	
公開・非公開の別	公開	
非公開理由	—	
傍聴人の数	なし	
配付資料名	<資料> 資料1：「新・地域づくり推進基本方針」策定に向けた検討について 資料2：新・基本方針の全体像 資料3：各所管における地域づくりに関連した取組について <参考> 参考1：八王子市地域づくり推進基本方針改定懇談会開催要綱 参考2：懇談会参加者名簿 参考3：懇談会参加者ご経歴等紹介資料 参考4：『八王子市地域づくり推進基本方針』令和2年（2020年）3月策定 参考5：意見書	

次第1 開会

1 配布資料の確認及び開催方法の説明

本懇談会は公開して行うこと、議事要旨では市職員及び座長以外の参加者は、発言者名を記載しない形で作成し、市ホームページで公開を行うこと、会議風景を市ホームページで公開するために撮影をすることについて、参加者より了承を得た。

2 自己紹介

(懇談会参加者による自己紹介)

3 座長の選任

懇談会の進行役である座長は、行政学、都市行政論に造詣の深い東京都立大学教授大杉覚氏に市から依頼しており、座長を引き受けていただく旨、承諾を得た。

次第2 議題

1 資料1「新・地域づくり推進基本方針」策定に向けた検討について」、資料2「新・基本方針の全体像」をもとに事務局より説明。

2 資料3「各所管における地域づくりに関連した取組について」をもとに、参加している市の各所管から説明。

【座長】

・ 事務局や市の各所管から説明があったが、参加者の皆様から質問や意見があれば伺いたい。

【参加者】

- ・ 現在、地域づくり推進会議に参加している。地域づくり推進会議の役割は、資料1の16ページに書かれているとおり、「地域の課題を解決する方法などを検討すること」を含むが、これまで会議の中で、地域の課題を発掘して行政の課題に転換する機能を地域づくり推進会議の中にどのように盛り込むのかという討議はなかった。また、資料1の29ページに市が捉えた課題として書かれているとおり、「地域課題を踏まえた行政視点の会議内容や取組が少ない」というのは本当にそのとおり。この役割を盛り込むことについて、市から参加者への訴求が足りていなかったと思う。
- ・ 地域づくり推進計画を策定したことで、担い手不足の解消に向け人を呼び込むためのマルシェを開催したほか、地域防災部会を立ち上げ、地域版ハザードマップの作成に向けて活動するなど、地域にとって推進会議がもたらした効果もある。しかし、地域自治や推進会議のあるべき姿が見えないため、現状参加者は目の前の取組に注力してしまっている。
- ・ 中学校区という単位は地域によっては相応しくない。また、市の様々な分野・制度で区域が異なることが多い。
- ・ 地域づくりの単位を中学校区に設定したことについて、妥当性を示してほしい。顔が見える単位というなら小学校区も当てはまる。町会、子ども会など活動団体によって対象区域が異なる。境界を設定するなら、妥当性を示さないと地域に理解されづらいのではないか。
- ・ 企業や商店などと地域づくりとの関わりはどのように捉えているのか。
- ・ 未来を語っていく課題設定において、子どもたちや子育て世代の声の拾い上げや反映はどうしていくつもりか、考えを知りたい。

会議の内容
(1)

会議の内容
(2)

- ・ 潜在的な課題へのアプローチが難しいという話があったが、閉鎖的な場で検討するのではなく、我々が外に出ていくというオープンに取り組んでいく姿勢が必要だと思う。
- ・ 多くの人は日常的に課題を認識していないが、災害時など非常時に声を掛け合えるような関係性をつくる必要があると思う。
- ・ 多くの計画やビジョンからは、赤ちゃんからお年寄りまでと書かれていることがよくあるが、中高生の視点が抜けていると感じることが多い。多感な時期であり、そうした子どもたちの居場所づくりも必要。地域づくりに巻き込んでいけると良いと思う。

【座長】

- ・ 「共創」とはオープンイノベーションの意味か、それともコ・クリエイションか。
⇒ 【新納】
 - ・ 従前の基本構想・基本計画『八王子ビジョン 2022』で市政運営の柱として掲げていた「協働」を発展的に捉えた考え方。コ・クリエイションに近い。

【参加者】

- ・ PTA や消防団での活動を通じて、どちらも加入者数が減少傾向にあると感じている。推進会議には PTA からの推薦で参加している方もいるが、PTA は廃止している学校もあるので、個別の PTA よりも小学校 PTA 連合会や中学校 PTA 連合会にアプローチしたほうが良いのではないかと。また、消防団では若い人が所属している地域が活発に活動しているので、そういったところにアプローチするとより良い展開が生まれるのではないかと。
- ・ すでに策定済みの地域づくり推進計画をみると、緻密ですごいと感じる反面、推進会議自体が継続できるのか疑問。推進会議に出席する人を育てないといけないと思う。30～40代の方に関心をもってもらえるような活動をしていく必要がある。
- ・ 資料1の29、30ページに「行政課題」とあるが、地域づくり推進会議のなかで、市民が行政サービスを担っていくという意図なのか。

【座長】

- ・ 地域自治とは何か、推進会議をどうしていくかを考えたときに、地域課題の解決から行政課題の解決につなげるという意図だと思うが、地域課題から入るのが本当に良いのか疑問を感じる。課題解決という目的ではなく、楽しいことから入り、いかに様々な年齢層にアピールし、地域の厚みをつくっていくかが重要だと思う。
- ・ 法人や中高生について話にあがったが、市町村だと高校生の視点が入らないことが多い。最近では、高校魅力化の事業で都道府県が関わっていたり、市町村でも高校生という意識を地域に取り入れたりしている。

【参加者】

- ・ 八王子市では、市内にある都立高校 5 校の「総合的な探求の時間」において、八王子の地域課題解決に向けて学習する取組を行っている。高校生によるまちづくりの提案発表も行われている。地元にある高校の生徒も巻き込んだ地域活動も学運協などを中心に始まってきている。

<p>会議の内容 (3)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 八王子市は様々な地域性があるため、市が説明したように地域自治の形も様々なパターンが考えられるというのは、納得できる。 ・ 次回に向けて、現行の基本方針の 20、21 ページにある世代別のグラフが 15～64 歳で一括りになっているので、より詳細に地域や八王子市の状況を可視化できるデータが欲しい。 <p>⇒【新納】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域カルテには可視化できるように地域別の詳細データを載せている。カルテの使い方も今後検討の余地がある。 ・ 他にもデータはあるので、次回以降提示していきたい。 <p>【座長】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域によって地域づくり推進会議のあり方も違うと思う。推進会議の役割・機能に関する検討はもっと深めていく必要がある。住んでいるところと違う地域で活動していたり、地域外で関わりが生まれたりすることもある。 ・ 素晴らしい個々の取り組みはすでに地域に存在するので、情報共有の場が必要だと感じる。 <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ いただいた質問や意見については、次回事務局から回答する。 <p><u>次第3 事務連絡</u></p> <p>事務局より、第2回懇談会は 10 月下旬を予定しており日程は別途調整すること、参考 5 「意見書」については意見があれば懇談会終了後にメール等で提出してほしいことを説明。</p> <p><u>次第4 閉会</u></p> <p>以上</p>
------------------------	--